



千葉大学病院小児科

愛の花 NO HANA News

創刊号
2021年8月

小児医療の方針

「子ども達の味方です。
お子さんと家族が安心し、
納得できる医療を提供します。」

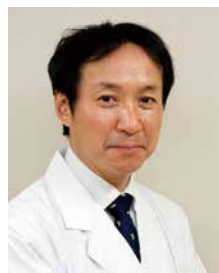
小児病棟の目標2021

患児・家族を中心としたチーム医療を提供します。
本院の「こどもの権利」を基にした療養環境を提供
します。

NICU・GCUの目標2021

- ・ NICU/GCU is your Family
- ・ 赤ちゃんと家族に優しい看護を提供します。
- ・ 救命・治療処置と成長・発達の支援を分離させずに統合した治療・看護を提供します

発行にあたってのご挨拶



濱田 洋通 教授

関連病院、同門の先生方、暑中お見舞い申し上げます。いつも患者さんの紹介をありがとうございます。コロナ禍にあって千葉大学病院小児科の活動を直接ご紹介できない日々が続いております。

そこで、診療・研究・教育活動をニュースレターとしてお届けします。夏は診療中心に、冬は研究・教育活動を中心にお届けする予定です。ひと息ついた時にご覧いただければ幸甚に存じます。

2021盛夏



2021年度小児病態学スタッフ (2021年5月)

後列左から、山出史也(小児病棟長)、江畑亮太、高谷具純(医局長)、濱田洋通(科長、教授)、藤井克則(准教授)、大曾根義輝(周産母子センター長)、塩浜直(外来医長)
前列左から、力石浩志(副医局長)、菱木はるか(講師)、日野もえ子、遠藤真美子(NICU・GCU病棟長)、中野泰至

小児病棟DATA	
みなみ棟3階	
小児病床 42床 (クリーン 16床)	
NICU 9床・GCU 18床	
PICU 1床	



小児科 2021年春から夏

4月
(1日)

濱田科長着任

5月

(14~18日)

シヨッピング
バーチャル
イオン

クリーンルームから
ロボットでイオンで
お買い物しました。



6月

大規模接種手伝い
コロナワクチン



7月

PICU新設

病院機能評価受審

RSウイルス入院多

8月

総出でかたづけ
研究室引っ越し



9月
(9日)

引っ越し完了

NICU15床へ増床

今年度より千葉大学小児科プログラムに入りました、平成31年卒の小林俊幸と申します。

出身大学は千葉大学で、ゴルフ部に所属しておりました。趣味は音楽で、バンドをやっていました。

患儿やその家族と信頼関係を築ける小児科医になるべく、謙虚に日々研鑽していく所存です。ご指導のほど何卒よろしくお願いたします。

小林 俊幸 先生

後期研修3年目、武田真梨子と申します。船橋市立医療センターの小児科プログラムに所属し、一般小児科を2年研修後、4月より千葉大学で研修しています。

市中病院から搬送されるような専門性の高い疾患や重症症例を通して学ぶことは多く、先生方のご指導に感謝し、今後も精進してまいります。

武田 真梨子 先生

私は千葉県の山武市出身で、学生時代より小児科を志し、大学卒業後は千葉県の小児医療に携わり県民の皆様の健康に役立ちたいと考えていました。まだまだ努力が至らないところもあるとは思いますが、日々精進して参ります。

山崎 裕子 先生

今年度から小児科に勤めることになりました、葉ゆりと申します。専門は循環器です。千葉県生まれ・千葉県育ちですので、小児科医として故郷に貢献できることを嬉しく思います。

今後とも宜しくお願い致します。

葉 ゆり 先生

2021年度より千葉県大学小児科プログラムに入りました、池澤奏那と申します。

子どもたちは未来そのものだと思っております。そんな彼らに迫る健康上の危機を取り除く手助けができれば幸いです。ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いたします。

これは余談ですが、下の名前は「そうな」と読みます。中国の楽器の名が由来です。

池澤 奏那 先生

新入職者紹介

この春から一緒に働いている
大学病院新入職のドクターを
ご紹介します。



はじめまして、齋藤千尋と申します。小児科3年目で専門班は神経班です。

今年度は新生児研修として千葉大に勤務しています。まだまだ未熟者で勉強の日々が続いています。今後ともご指導のほどよろしくお願申し上げます。

齋藤千尋先生

2008年卒、小児血液腫瘍グループの奥主朋子と申します。

前任地である帝京大学ちば総合医療センターでは3年間主に一般小児+血液腫瘍診療を行いつつ、2人目の妊娠出産も終え、2021年4月に千葉大学病院に戻って参りました。

専門医としてさらに成長できるよう、日々頑張りたいと思います。どうぞよろしくお願いたします。

奥主 朋子 先生

4月より新生児を担当しております、医師7年目の飯島雄太と申します。

新生児の医療は児の成長をご家族とともに見守れる、やりがいのある仕事だと思っています。同時に新生児医療には未だに解明されていないことが沢山あり、学問としても魅力的な分野と考えています。

周産期医療に貢献できるよう全力を尽くしていく所存です。

飯島 雄太 先生

4月1日に17年ぶりに千葉大にもどりました。

臨研で平成2年の当直日誌をみてタイムスリップしました。医療者になった患者さんに31年ぶりに会えました。懐かしい顔が病院各所におり、再会の毎日です。若い先生方と一緒に勉強することを楽しみにしています。

濱田 洋通 先生

山出病棟長



診療活動紹介

塩浜外来医長



1班

1班は血液・腫瘍・感染症を中心とするチームです。入院患者のほとんどは小児がんの患者さんであり、小児がんチームが対応しています（写真左から山下喜晴、専攻医小林俊幸、奥主朋子、日野もえ子、力石浩志）。小児がん治療の半分は合併症管理であり、感染症専門の菱木はるか（写真右端）が1班にいて、発熱に対して迅速かつ専門的なアプローチが可能となっています。菱木は1班だけでなく院内外の感染症コンサルテーションを行っています。

4月-6月の入院治療実績（検査のみを含む）

- ・神経芽腫 6件
- ・急性リンパ性白血病 5件
- ・急性骨髄性白血病 3件
- ・非ホジキンリンパ腫 3件
- ・横紋筋肉腫 3件
- ・その他 15件

特に苦慮した症例

- ・未分化大細胞リンパ腫の乳児例



2班

高谷具純・今田寛（内分泌）と中野泰至・山出史也・佐藤法子（アレルギー免疫）の5人を中心に、専攻医の武田真梨子が加わり、明るい雰囲気であつ教育的な診療を行っています。低身長、甲状腺疾患、糖尿病などの内分泌疾患、食物アレルギーやアトピー性皮膚炎などのアレルギー疾患、膠原病・自己炎症性疾患などに対する専門診療とともに、内分泌検査や負荷試験、食物アレルギーに対する食物経口負荷試験も多く実施しています。また、2班は、急性感染症など一般的な小児疾患の入院患者さんも多く診療しています。

4月-6月の診療実績

- ・糖尿病・バセドウ病入院 7件
- ・食物経口負荷試験 40件（年間約250-300件）
- ・内分泌検査・負荷試験 6件（年間約70件）



3班

循環器と神経の混合チームです。毎朝夕のカンファ、ラウンド、医療的ケア児の呼吸不全などの一般診療の他、RSV感染症、お互いの専門領域について学び、協力しながら診療しています。

循環器領域では急性心筋炎の徐脈心不全症例をICU・循環器内科と連携して回復まで導くことができました。小さな心臓内シャントの患者さんで口腔内細菌による脳膿瘍症例に対し、脳外科や感染班と方針を検討しています。神経領域では急性脳症の集中治療管理、神経性食思不振症、重症筋無力症、巨脳症毛細血管奇形症、視神経炎、脊髄性筋無力症、裂脳症、ハント症候群、難治性てんかんの診断・治療を精力的に行いました。



- 循環器グループ：江畑亮太、小林弘信、葉ゆり
- 神経グループ：藤井克則、塩浜直、内田智子、池原甫
- 専攻医：山崎裕子

N班

4月より新たな医師2名と後期研修医が加わり、医師6名でにぎやかに新年度が始まりました。4～6月の入院数はのべ76件であり、極低出生体重児6例（うち超低出生体重児5例）、外科手術9件（横隔膜ヘルニア2例、食道閉鎖2例、消化管閉鎖5例）、骨系統疾患2例と重症度高く外科疾患・気道疾患の多い、とても忙しく充実した3か月でした。また、新生児蘇生法Aコースを院内開催し、産科、麻酔科、小児科、小児外科の医師、看護職を含めた総勢19名で活気あふれる講習会となりました。



上段-飯島雄太、大曾根義輝、池澤奏那
下段-遠藤真美子、齋藤千尋、岩瀬由紀子

藤井克則先生が国際医療福祉大学小児科の主任教授に就任されました

新たなスタートを迎えて

藤井克則 (平成2年卒)
国際医療福祉大学医学部小児科 主任教授



千葉大学小児科准教授より7月1日付で国際医療福祉大学医学部小児科 主任教授を拝命しました。千葉大学在任中はみなさまに大変お世話になり心より御礼申し上げます。

国際医療福祉大学医学部は2017年開学し、同成田病院は2020年に開院した新しい医療機関です。日本で38年ぶりの新設医学部で、国家戦略特区に指定された千葉県成田市で新たな医療を実践することになりました。医学部は140名（うち20名は海外留学生）で授業は英語で行われます。今年から5年生の病院実習が開始され、近隣の先生方には実習等でご協力いただき感謝申し上げます。

「優秀になりたければ優秀な人の近くにいるべき」とは私のモットーですが、千葉大学はまさにその環境にありました。2001年の留学帰国から私が大学勤務20年で行った仕事の大半は優秀な方々からヒントを得たものであり、論文リストを見るたびにその念を強くします。特に循環器班と神経班の先生方には苦しい時に本当に助けていただきました。勤務後の銀寿司での飲み会は今も楽しい思い出で、これら写真は私の大切な宝物です。

8月1日付で濱田洋通教授のご厚意により千葉大小児科の特任教授になる予定です。濱田教授のご指導により千葉大小児科が今後益々発展してゆくことをお祈りしています。

医局から

こんにちは。今年も医局はこのメンバーで運営していきます。何かわからないこと等ございましたら、お気軽に医局までお問い合わせください♪♪ (☎043-226-2144)



お知らせ

教室、引っ越します。

9月に、新医学部棟に引っ越します。

実験設備、机、本棚、冷蔵庫など古いものは買いかえます。

同門会の皆様ご支援をよろしく申し上げます。

小児科学教室へのサポートのお願い
(同門会HP)



■ 外来担当表

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
専門	神経	血液・感染症 臨床法医	内分泌 免疫・アレルギー 新生児	免疫・アレルギー	新生児 循環器 臨床法医
担当医	濱田 洋通	菱木 はるか	藤井 克則 (第1・3)	山出 史也	濱田 洋通
	塩濱 直	日野 もえ子	大曾根 義輝	中野 泰至	江畑 亮太
	内田 智子	力石 浩志	高谷 具純	佐藤 法子	遠藤 真美子
	内川 英紀	石和田 稔彦	山出 史也	緒方 仁志	小林 弘信
	池原 甫	齋藤 直樹	今田 寛		葉 ゆり
	岩瀬 由紀子		石和田 稔彦		齋藤 直樹

患者さんのご紹介について

今年4月から、発熱や感染症が疑われるの患者様については原則、症状軽快まで個室隔離とします。その際も小児環境療養加算を算定させて頂き、個室料は請求いたしません。特に感染が広がりやすい疾患に対しては陰圧室を用意しております。

又、患者様のお預かり対応が可能な場合もありますので、入院依頼担当者にご相談ください。

ウィークデイ毎日午前中に空床情報とその日の連絡担当ドクターを記した空床情報メールを送っています。希望される先生がおりましたら医局までご連絡ください。

ICU内にPICU(Pediatric ICU)1床をもうけ、7月から運用を開始しました。集中治療が必要な症例をご紹介ください。